

平成維新を実現する都民の会第34回運営会議議事録

※敬称略(記録・文責:杉原健児)

【日時】1998年4月6日(月) 18:40~21:30

【会場】新宿区立リサイクルセンター4階。

【出席】板橋光紀・小川敏夫・小俣一郎・小枝尚・近藤珠甲・笹本弘子・佐藤鶴次郎・澤井正治・杉原健児・治田桂四郎・望月忠雄・山崎康彦・渡辺洋介、以上13名。

【委任状】大谷和夫・大山悦男・小田武史・神村知行・山本竜司。

【配付資料】

(1)運営会議議案(治田)

(2)会員拡大目標と実績(治田)

【回覧資料】

平成維新千葉B.T./かながわ市民プレス/東海平成市民の会掲示板・ドカムートランド/あしたの風・女たちの平成維新/大前研一通信(杉原)

【議事】(議長:治田)

【1】治田代表からの挨拶があった。

【2】出席者全員自己紹介。

【3】前回議事録は下記訂正があり承認された。

※訂正:【5】(3)長谷川⇒澤井。

【4】小川敏夫参議院候補から出馬表明のあいさつがあり、質疑応答が行われた。

【5】小川敏夫参議院候補の推薦者名簿

前記あいさつに続き、治田代表から同氏の推薦手続きをしたい旨説明があり、各区エリアマネージャーに、各区毎の会員名簿が配られ、各区毎に出来るだけ多くの推薦賛同者を集めて頂きたいとのお願いがあった。各区エリアマネージャーは、4月30日までに推薦者名簿を治田代表に提出することとなった。

【6】各区活動報告

<1区> 佐藤AMより報告。1区の動きではないが、東京オンブズマン(石原会長)の活動を新宿でもやりたい。

<2区> 定例会は毎月開催している。

<3区> 澤井AMより報告:3月定例会を持った。

<5区> 治田AMより報告:3月定例会を持った。

<7区> 小俣AMより報告:5月16日「末松義規議員の国政報告を聞く会」に出席する。

<10区> 定例会は毎月開催している。

【7】特別委員会活動報告

(1)「21世紀ライフスタイルを考える特別委員会」澤井副委員長より報告。4月25日の「けやきの郷」ボランティア・プログラムに、ガラガラにぼんの会から3~4名参加の予定。

(2)「政・官・財構造特別委員会」山崎委員長より報告。大蔵省スキャンダルに対して、検察の追求が止まったが、我々が直接裁判を起こしたい。

(3)「情報公開特別委員会」治田委員長より報告。食料費調査は都内20区について完了。今月中に都庁の記者懇談会で説明会を開く予定。

【8】インターネット・ホームページについて望月氏より「首都圏市民会議」で下記のフォーラムの開設準備中の説明があった。

(1)情報公開フォーラム

(2)選挙制度フォーラム

(3)政策提言フォーラム

【9】神村氏の担当役員辞任⇒後任・佐藤氏に決定。治田代表より、神村氏が一身上の都合により担当役員を6月末を以て辞任したいとの申し出があることが伝えられた。協議した後、治田代表が佐藤氏が適任として、本人の了承を確認の上、後任・佐藤氏を選任した。

従って7月以降、佐藤氏が経理担当・名簿担当の任にあたることとなった。

【10】「新ブレイクスルー思考」の講義依頼提案:治田代表より、表記件を首都圏市民会議主催との提案をしたが否定されたので、次回副代表会議で再度検討するとの報告があった。

【次回】第35回運営会議:1998年5月7日(木) 18:30~21:00 新宿リサイクルセンター。

「平成維新東京」の各種活動状況

【A】東京2区・3月例会議事速報(大谷和夫)

日時:1998年3月28日(土) 18:30~21:10

場所:喫茶室ルノアール蒲田西口店

出席:神村知行・杉本年行・栗田恵一郎・野添健郎・大谷和夫

1. 前回議事録確認

宿題事項について後に議論することとした。

2. 3月運営会議報告

宿題事項について後に議論することとした。

3. 「新ブレイクスルー思考」の紹介講義

追って運営会議で監訳者の海辺氏に講義してもらおうよう治田代表にお願いしているが、実現の際は参加希望者が多かった。

4. 日本国憲法の問題点

世界の憲法との比較に基づく形式上の問題点、現実と遊離している条文上の問題点について指摘があり、法治国家が放置されている現状について認識を改めた。日本人の社会性、論理性の欠如を改めることが一番問題であろうという話になった。

5. 宿題事項について

(1)情報公開運動:治田代表と連絡をとり、請求のノウハウを伺った上で行動しようということになった。

(2)総会関連事項:総会を毎年開催するのはよいが、代表の任期は4~5年とする提案があり、賛成者が多かった。会名の変更より中身が問題で、長期ビジョンなどにいかに魅力を持たせるかが肝心であろうとの意見であった。大事なことは会員減少に歯止めをかけ、会員が増加するような方策を長期的に講ずることであろう。

(3)年会費問題:1000円にしてサービスを低下するより、3000円でもコスト・パフォーマンスを向上させる方が重要であるとの意見が強かった。

6. 今後の運営について